

高松青果株式会社

■青果物卸売

地域の「食」の流通を支え、 野菜文化を多角的に発信。



早朝から始まるセリの様子。右手がセリの参加者。左手の卸売担当者が、取り引き内容を即時にデータベース化しています。



卸売人とセリの参加者が、青果物から青果物へと歩いて巡回する「移動セリ」も行われます。



セリを行うには「セリ人免許」とともに、市場全体からの信頼感も必要。高松青果には全国でも珍しい女性セリ人もいます。



野菜や果物が所狭しと並ぶ市場内部。

市場に新しい風を吹き込む。

1967年、高松中央卸売市場の開設時から青果部の卸売りを担当。現在では100億円を上回る取扱高があり、市場のリーダーとして地域の食の流通を下支えしています。

会社の特徴は「若さ」「業務のシステム化」「働き方改革の実施」の3つです。団塊世代の大量退職への対策として、約10年前から20代、30代の若い人材を採用。結果として会社の若返りに成功しました。またベテランの多い市場で若手ならではの「強み」が必要と、売買の流れや価格のデータベース化を全国の卸売業者の中でいち早く導入。取り引きを

スピーディーに「見える化」し、負担だった伝票作業も短時間化・効率化しました。そのデータとデータ化により生まれた時間は、営業戦略を練るなど発展的に活用。加えて、不規則勤務のイメージがある業界で「8日連続休暇取得」の目標を掲げ、優秀な人材確保に向けた労働改革にも結びつけています。

さらに「青果の卸売業者は野菜文化の発信者」と考え、県内の同業者でネットワークを結成。ホームページで地元の野菜の魅力を伝え、イベントも開催しています。

高松中央卸売市場の外観。歴史のある施設ですが、劣化・老朽化により高松市朝日町の移転が予定されています。



Staff Voice

目標は地元野菜のエキスパート。

営業管理課 係長 田中 美佳さん

営業担当をサポートし、取引書類の取りまとめを行っています。また県内の青果卸売業でつくるネットワークの事務局として、希少野菜をまとめた冊子の作成、生産者・料理人・消費者を繋ぐイベントも実施しています。日々野菜や果物の知識が増えるので、いつか表舞台でその魅力を語ってみたいです。

Company Profile

本社：香川県高松市瀬戸内町40-12
☎ 087-862-6111
☎ 087-837-1757
<https://www.takamatsuseika.co.jp/>

設立 ■ 1966年10月
資本金 ■ 5,000万円(2018年10月現在)
従業員数 ■ 49名(2018年10月現在)



四国の市場をリードする卸売業者に。

継続的に地域の食を支えることが目標。それを可能にするため先進的な業務・組織・働き方への改革に努めています。これからは四国全体で日本中へ、さらに世界へと地域の食の魅力を発信すべき時代です。その取り組みのリーダーになれる会社を目指しています。

代表取締役社長 齊藤 良紀